

社会資本総合整備計画（防災・安全）

平成29年3月24日

計画の名称			
安心安全なやまぐちのみちづくり			
計画の期間			
平成25年度 ～ 平成29年度（5年間）			
交付対象			
宇部市・山口市・萩市・防府市・下松市・岩国市・光市・長門市・柳井市・美祢市・周南市・山陽小野田市・周防大島町・田布施町・平生町・阿武町・和木町			
計画の目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の整備、交差点改良等の事故防止対策を進め、安全でゆとりあるみちづくりを進める。 ・道路施設の計画的な修繕・防災対策を進め、安心・安全な道路交通環境を確保する。 ・道路を構成する施設や道路附属物の点検、長寿命化計画等の策定及び効率的な維持管理により、安心・安全な道路交通網を確保する。 ・道路ストックの総点検や個別施設計画等に基づく老朽化した道路施設の更新・修繕や、災害の恐れのある法面の防災対策、災害時における避難路の整備、交通安全対策等を進め、安心・安全な道路交通網を確保する。 			
計画の成果目標（定量的指標）			
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の通学路のうち、関係者から要望のあった交通事故発生の可能性が高い箇所の対策を0%（H25）から100%（H29）にする。 ・修繕が必要と判断された橋梁の対策率を0%（H25）から100%（H29）にする。 ・点検対象施設において、計画期間内における点検実施率を0%（H25）から100%（H29）にする。 ・道路施設の更新・修繕や防災対策箇所の対策率を0%（H25）から100%（H29）にする。 			
定量的指標の定義及び算定式		定量的指標の現況値及び目標値	
		当初現況値	中間目標値
		(H25当初)	(H27末)
			最終目標値
			(H29末)
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の通学路のうち、関係者から要望のあった交通事故発生可能性が高いと判断される箇所を期間内に解消した割合を算出する。 交通事故の発生可能性が高いと想定される箇所の解消率（%）＝ （対策済み延長(m)／対策必要延長(m)）×100 		0%	38%
<ul style="list-style-type: none"> ・修繕が必要と判断された橋梁について対策した割合を算出する。 修繕が必要な橋梁の解消率（%）＝（補修済み橋梁数／修繕計画上平成29年度までに補修を予定している橋梁数）×100 		0%	23%
<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間内において、点検対象施設を点検した割合を算出する。 点検実施率（%）＝（点検実施箇所／計画期間内の点検実施予定箇所数）×100 		0%	23%
<ul style="list-style-type: none"> ・道路施設の更新・修繕や防災対策などが必要な箇所の解消した割合を算出する。 修繕・防災対策等が必要な部分の解消率（%）＝（対策済み箇所／計画期間内の更新・修繕・防災対策等の必要な箇所）×100 		0%	31%
			100%

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	933	1,165	1,447		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	933	1,165	1,447		
前年度からの繰越額 (d)	256	459	374		
支払済額 (e)	730	1,250	1,587		
翌年度繰越額 (f)	459	374	234		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%		
未契約繰越+不用率が 10%を超えている場合そ の理由	-	-	-		

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

社会資本総合整備計画の事前評価

計画の名称：安心安全なやまぐちのみちづくり

事業主体名：宇部市・山口市・萩市・防府市・下松市・岩国市・光市・長門市・柳井市・美祿市・周南市・山陽小野田市・周防大島町・田布施町・平生町・阿武町・和木町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1)上位計画との整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえた計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と事業内容の整合性等	
1)目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
2)定量的指標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)定量的指標が分かりやすいものとなっている。	○
4)基幹事業と関連事業・効果促進事業の一体性が確保されている。	○
②事業の効果	
1)事業実施により、十分な事業効果が発揮される。	○
III. 計画の実現可能性	
①計画の具体性	
1)事業費・事業内容が適切に設定されている。	○
②円滑な事業執行の環境	
1)熟度の高い箇所が選定されている。	○
2)実施工程に則して実施期間が設定されている。	○